

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）
IgG4 関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究
分担研究報告書

肝・胆道疾患の診断基準・重症度分類・治療指針の確立と評価

研究分担者 滝川 一 所属施設 帝京大学医療技術学部 役職 学部長
研究協力者 田中 篤 所属施設 帝京大学医学部内科学講座 役職 教授

研究要旨：研究要旨：厚労省難治性疾患政策研究班の中村班（疫学班）との協働により、全国の病院から抽出した施設を対象として IgG4 関連硬化性胆管炎の症例数を尋ねる一次調査を行う。これによって症例が存在すると回答のあった施設を対象として EDC システムを利用した二次調査を行う。あわせて、前回 2015 年の IgG4 関連硬化性胆管炎全国調査によって登録された 527 例についても追跡調査を行う。

A．研究目的

IgG4 関連硬化性胆管炎の日本における最新の実態を把握するため、IgG4 関連硬化性胆管炎全国調査を行う。

F．研究発表

1. 論文発表
 2. 学会発表
- なし

B．研究方法

厚労省難治性疾患政策研究班の中村班（疫学班）との協働により、全国の病院から抽出した施設を対象として IgG4 関連硬化性胆管炎の症例数を尋ねる一次調査を行う。これによって症例が存在すると回答のあった施設を対象として EDC システムを利用した二次調査を行う。あわせて、前回 2015 年の IgG4 関連硬化性胆管炎全国調査によって登録された 527 例についても追跡調査を行う。

G．知的財産権の出願・登録状況
（予定を含む。）

1. 特許取得
 2. 実用新案登録
 3. その他
- なし

（倫理面への配慮）

現在本研究計画について帝京大学倫理委員会へ申請中である。

C．研究結果

D．考察

E．結論

2018 年 7 月から資料集めを行い、12 月に研究計画書の第 1 版を作成。修正を加えて最終版とし、2019 年 2 月帝京大学倫理委員会に研究計画書を申請した。